

学校教育目標	教育理念『自立貢献』				
	○自分で解決する力を大切にします。(知・公・開) ○心豊かに生きる力を大切にします。(徳・体)				
学校概要	創立 37 周年	学校長 竹下 恭子	副校長 戸田 緑	2 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 590 人		主な関係校: 荏田西小学校 東市ヶ尾小学校 市ヶ尾小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	市ヶ尾中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
言語能力 自分づくりに関する力 持続可能な社会の創造に貢献する力	市ヶ尾中学校 荏田西小学校 東市ヶ尾小学校	○多様性を認め合い、共に支え合うことができる子ども ○笑顔と挨拶があふれる子ども ・ブロック教務主任会で、9年間で育てる子ども像に迫る行事を推進。 ・児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施。

中期取組目標	○ユネスコスクールとしてESDの視点を重視する教育活動を展開し、関係機関等と連携しながらSDGsを意識した持続可能な学校づくりを全職員で目指します。 ・生徒の学習意欲を高め、主体的な取組ができるように、人やもの社会とのつながりを大切に授業の実践を目指します。 ・すべての教育活動に自分づくり(生き方、キャリア教育)の視点を持って臨み、活動を充実させます。 ・人権、道徳教育を基盤とした教育の推進、特別支援教室の効果的な運用など、特別支援教育を推進します。 ・小中ブロックや家庭・地域、行政・NPO等と連携し、地域社会とつながり、積極的に地域に貢献できる力を育みます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善 担当 教育課程担当	①ESDとキャリア教育の視点を重視し、実践的な態度につながる学びを推進するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。②生徒による授業評価の分析やICT活用の推進など、校内研修を通して授業改善を図る。③校内授業研の機会を活用し、指導と評価の研究を進める。
徳 道徳教育 担当 道徳人権担当	①学級・学年集団や全校の中でさまざまな個性や特性を理解し合う心を育て、自分の役割を意識し集団の中で貢献する力を育む。 ②道徳の授業を中心として平和学習や学校行事を通して多様性や人権を尊重する心を育む。
体 健康教育 担当 保健環境指導部	①食育推進委員会を中心に食育を行うとともに、望ましい生活習慣の維持について家庭の協力を得る。 ②生徒の実態を分析し、運動能力の向上や健康増進についての教育を行う。 ③体育科や生徒会を中心に、昼休みに校庭・体育館・格技場で運動することを推進する。
公開 ESD/SDGs 担当 ユネスコ・ESD担当	①ユネスコスクールとして、平和学習とESDの視点を大切に、SDGsの目標達成に向けた昨年度の取組・成果を基に特別活動や総合的な学習の時間等を中心に取り組み継続・発展させる。 ②ESDとキャリア教育の視点を重視し、よりよい生き方としての実践的な態度につながる学びを推進するとともに、行政・企業・地域等と協働し、持続可能な社会の創造に貢献しようとする態度・行動力を育てる。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①毎月の生活アンケート等からいじめの実態把握と未然防止に努め、「いじめ防止対策委員会」を月一回以上開催し、生徒がいきいきと安心して生活できる環境をつくる。 ②ESDの視点から様々な事象を多面的に捉え、主体的に解決していく姿勢を育てる。
人材育成・ 組織運営(働き方) 担当 教務・メンターチーム	①メンターチーム研修を定期的に行い、若手教職員の教育実践力を高めていく。 ②職員共有ファイルやミライム、GIGA端末(Chromebook)を積極的に活用し、担当者同士のコミュニケーションを図る。③働き方改革の視点から効率的な業務の見直しを図り時間外勤務を減らすとともに、持続可能な部活動について検討し適切な活動時間について考える。
地域学校協働活動 担当 学校運営協議会担当	①小中ブロックでの学校運営協議会で、学校経営方針や生徒の活動について周知するとともに、第三者からの視点を学校運営に活かしていく。 ②地域コーディネーターのマネジメントで各種ボランティア・学校行事等で地域の教育力を活用する。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①特別な支援が必要な生徒については特別支援委員会が中心となり保護者と連携し、個別的教育支援計画と個別の指導計画に基づいた指導を行う。 ②学習ルーム(特別支援教室)を組織的に運営し、一人ひとりの状況に合わせた支援や指導を行う。
生徒指導 担当 生徒指導部	①教職員は可能な限り生徒に寄り添い、生徒の些細な変化に気づくとともに気軽に相談活動ができる雰囲気作りを進める。②個々の生徒の状況を教職員全体で把握し、組織的な対応に努める。③インターネットやスマートフォンのマナーについて、定期的に指導をする。
情報教育 担当 情報・ICT担当	①1人1台GIGA端末(Chromebook)を活用し、ICTによって可能になる指導や評価の方法を模索し、導入していく。学習力の向上と、より適切な評価に役立てていく。 ②定期的に職員研修を行い、教職員のICT活用指導能力を向上させていく。